

11/6

朝ごはんを食べて元気いっぱい ～あらお食育推進交流会～

▶6つのグループに分かれ、それぞれの代表者が意見を発表しました。



こととして2回目となるあらお食育推進交流会はあらおシティモールで開催されました。

本市では「あら、あら、おいしか、楽しかバイ！毎月19日はみんなそろって朝ごはん」をスローガンに毎月19日を「あらおの食育デー」と定めています。同交流会には、食育関係者などが参加し、市民に朝食の大切さに関心をもってもらうと活発な意見交換が行われました。

参加者は「バランスのとれた食事や朝ごはんの大切さを広めていきたい」と、話していました。

11/15

枝の曲線が美しい 市の木・小岱松 ～小岱松剪定会&盆栽展～

▶盆栽展では小岱松の苗木の無料配布も行われました。



本市の木である小岱松は、幹の表面に独特の模様がある珍しい松です。この日、減り続ける小岱松の保存・普及活動を行う小岱松保存会は、文化センターにある市制50周年記念樹の小岱松を一般参加者と共に丁寧に整え、枝ぶりをすっきりさせました。

また、11月29日～12月1日の3日間にわたり、文化センターで盆栽展が開催されました。29点の小岱松と12点の黒松などの展示が行われ、多くの人が楽しみました。

11/16

創意工夫で全国の大舞台へ！ ～荒尾少年少女発明クラブ 全国大会出場～

▶からくりパフォーマンススカートを着用した田中廉斗さん（左から）田中宏樹さん、田上泰地さん（右から）



東京都で開催された「第4回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」全国大会に、熊本県代表として荒尾少年少女発明クラブの海陽中2年の田中廉斗さん、三中2年の田中宏樹さん、四中1年の田上泰地さんが出場しました。三人は荒尾を紹介する荒尾梨・観覧車・マジックの「からくりパフォーマンススカート」をつくって大会に臨み、パフォーマンス内容や車の走行の正確さを競いました。荒尾少年少女発明クラブからは、4年連続の全国大会出場となりました。

11/16

体験してエコを学ぶ ～あらお環境フェスタ 2013 エコを体験しよう～

▶エコクッキング教室では食材のムダを減らし、余熱を利用してカレーを作りました。



エコパートナーあらお市民会議は環境フェスタを中央公民館で開催しました。

ゴーヤのグリーンカーテンの表彰や巣箱・風・竹トンボ作り教室、水生生物教室、ペットボトルのキャップを材料にブローチを作る教室などが行われました。また、自転車漕いで発電して綿菓子を作るブースでは多くの子どもが足を止めて見入っていました。

訪れた人は体験しながら自然へ親しみ、エコを学んでいました。

寿

100歳 おめでとうございます！



中尾光次さん（中一部）

11月22日に100歳の誕生日を迎えた中尾さんは、カラオケや詩吟が好きで人が集まると披露したり、健康体操の指導を行ったりしてきました。長生きの秘けつは、さまざまな役員を務める中で、たくさんの人と触れ合ってきたこと、塩分を控えるなど食事に気を付けていたことだそうです。



古賀マキ子さん（福祉村）

12月10日に100歳の誕生日を迎えられました。以前は、近所の子どもの面倒をよく見ていたという古賀さん。最近では、デイサービスを毎日楽しみながら、ゆっくりと過ごしています。

長生きの秘けつは「明るく過ごすこと」とのことでした。

11/22

認知症でも安心して暮らせるまちに ～県知事から功労団体として感謝状～

▶前列左から、星塚さん、林さん、濱口さん、石崎さん。後列左から、前畑市長、国村さん。



新生地区公民館が、「熊本県認知症になっても安心して暮らせるまちづくり功労者団体」として県知事から感謝状を受け、前畑市長に報告しました。同公民館では、市内で初めて認知症サポーター養成講座を開催したのを皮切りに、地域で認知症の人や家族を見守る「認知症サポートネットワーク」を発足させました。

現在は、認知症サポートリーダーを中心に、認知症の人とその家族を支えるためのまちづくりを進めています。

11/23

まちの美しさを再発見 ～景観バスツアー～

▶四ツ山では四山神社宮司の黒田さんから眺望の説明がありました。



荒尾の良好な景観を知ってもらおうと景観バスツアーを開催しました。四ツ山や屋形山からの眺望景観、宮崎兄弟生家や賀庭寺古塔群の歴史・文化景観、荒尾干潟の自然景観など、市民でも意外と知らない景観や荒尾を代表する景観を見学しました。

参加者は「歴史的背景も知ることができてよかった」「荒尾に住んでいながら知らないことがたくさんあった」「知人にも教えてあげたい」と、感想を寄せました。